

オンライン会議導入方針（令和3年3月30日鎌ヶ谷市障がい者自立支援協議会決定）

◆ オンライン会議導入についての方針

鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会としての当面の方針	
① <u>参集しての対面会議を基本としながら</u> ② <u>今後オンライン会議にも対応できる体制の検討、準備を進めていく。</u>	
①の理由	②の理由
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 環境的にオンライン会議に参加できない方がいること ✓ 参加できる環境があっても操作や進行に不安がある方が多いこと ✓ 今後オンライン会議に参加できない方の参加を妨げることのないようにするため ✓ 会議以外の連携につながるコミュニケーションが取りづらいという指摘があること 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 移動時間の短縮や、感染リスクを減らせることなど参加しやすくなること ✓ 世の中の流れとして今後オンライン研修や会議などが一層進むことが予想されること ✓ 操作や進行などに技術や慣れなど一定の準備期間が必要になることから(今後のためにできるところから着手しておきたい)

◆ 具体的に目指す姿

具体的に目指す姿
▶▶ 会議室での対面会議とオンライン会議とを併用し、参加はどちらかを選べる会議形態を目指していく。

【事務局(市役所)の課題】

現状でオンライン会議を行う場合、スペース(会議室など)を用意して、1人1台デスクトップパソコンを運び LAN ケーブルを引っ張っていき接続しなくてはいけない。チームに事務局以外の市職員が複数人参加する場合、上記により複数台セッティングする必要がある。



今後対面会議とオンライン会議との併用を目指す場合に、対面会場となる市役所で複数人が参加する体制をどのように確保していくのかも課題となる。

◆ 参加者・事務局の役割

委員・チーム参加者	委員・チーム参加者有志 (フォローチーム)	事務局
<ul style="list-style-type: none"> ● オンライン会議に苦手意識を持たずにこれをきっかけに挑戦する気持ちを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● オンライン環境の設定、操作方法などに困った方を直接支援する。 ● 対面会議とオンライン会議の併用方法や、研修や体験会などの実施に協力するとともにアドバイスを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 対面会議とオンライン会議の併用方法について検討する。 ● 会議運営についての研修や体験会などを開催する。手引きを作成する。

◆ アンケートから見えてきた課題への対応について

アンケートから見えてきた課題	対応
① PC 環境の整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 各参加者の協力 ● フォローチームによる支援
② スペース確保の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 各参加者の協力
③ 操作技術の習得の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修会や体験会の開催・手引きなどの作成 ● フォローチームによる支援
④ オンラインならではの進行技術・参加ルールの必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修会や体験会の開催・手引きなどの作成
⑤ 事前準備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修会や体験会の開催・手引きなどの作成
⑥ 参加の機会確保の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 参集しての対面会議が基本 ● 対面会議とオンライン会議の併用方法の検討
⑦ オンライン会議を補完する機能の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 参集しての対面会議が基本